

1. 火葬場建設検討の経過

①火葬場建設検討委員会

第1期（昭和62年度～平成5年度）

昭和62年4月1日栗東町火葬場建設検討委員会設置要綱が施行され、7月に第1回目委員会が開催されています。その後、平成5年度までの7年間の間に10回の委員会が開催され、平成6年3月31日の報告書では、「現状においては火葬件数は非効率な運営が懸念されるが、人口ピラミッドから死亡者数の増加が見込まれ効率的運営が確実となる。また、火葬場設置への意見・要望等も強く、本委員会としては火葬場の町単独施設として設置を望む。」との見解が示されました。

第2期（平成14年度～平成15年度）

平成6年3月31日の報告から8年が経過し、社会情勢は変化しているが、報告書どおり市独自で火葬場を設置することについて検討されました。2年間で5回の委員会が開催され、平成15年5月1日の答申では、「今日の社会情勢に呼応した市町村の広域合併推進による広域行政の観点や、近隣市町の火葬場建設による栗東市民の利用状況に鑑み、栗東市での単独建設を見直すことが妥当である。」との見解が示されました。

②草津・栗東広域行政協議会（平成27年度～平成30年度）

草津市では、草津市営火葬場について、施設の老朽化対策への取組みや新たな施設の必要性について検討が進められてきました。栗東市では、これまで市単独での火葬場建設を検討してきましたが実現せず、現時点では草津市営火葬場や野洲川斎苑等の近隣火葬場を利用す

る状況が続いています。

このような状況の中、草津・栗東の2市が行財政基盤を強化しつつ、長期的・総合的に市民の付託に応えていくためには、広域での取り組みが有効であるとの観点に基づき、草津市から広域連携による新たな火葬場整備について提案され、今後の整備方針等の検討を行うため必要となる基礎調査を行いました。また、調査の(中間)報告書をもとに協議された結果、共同で整備していく方向が望ましいと結論付けられました。

③火葬場整備基礎調査

契約年月日：平成30年8月1日

履行年月日：平成30年8月1日～平成31年3月28日

請負代金額：全体11,880,000円(内、栗東市負担額4,051,080円)両市協定書により

受注者：パシフィックコンサルタンツ(株)滋賀事務所(大津市梅林一丁目)

調査結果：火葬場整備基礎調査業務報告書

2. 火葬奨励補助金の経過

昭和61年度から30,000円を補助

平成20年度、財政プログラムにより10,000円へ減額

平成22年度に廃止

現在、草津市営火葬場の栗東市民利用料は69,000円(草津市民10,000円)

野洲川斎苑の栗東市民利用料は70,000円(守山・野洲市民22,000円)

3. 総合計画への記載

- ・第三次総合計画（平成2年度～平成11年度）

火葬場の設置にあたっては、広域的対応或いは、町独自の建設計画を明らかにしつつ建設に努める。

- ・第四次総合計画（平成12年度～平成21年度）

火葬場の設置について検討を図ります。

- ・第四次総合計画（改訂版）（平成17年度～平成21年度）

火葬場の広域利用について検討を図ります。

- ・第五次総合計画（平成22年度～平成31年度）

記載なし